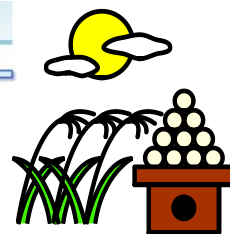


研修案内



「研修講座」前半の取組を振り返って

平成30年度の「研修講座」の実施数及び受講者数（8月31日現在）は以下のとおりです。

【研修講座】 82講座実施（120講座予定）2,338名受講

教育センターでは、長岡市「熱中！感動！夢づくり教育」の三つの柱の一つ「どの子にも分かる授業の実現」を目指し、教職員の人間性向上と専門性向上を図る研修講座を実施しています。今年度は、開設講座数や時間設定の見直しを図りました。また、校内研修を兼ねて参加する学校が複数見られるようになりました。10月以降も、充実した「研修講座」となるように努めます。研修案内において、追加申込みの可否をお知らせしますので、積極的に活用してください。

5月9日

生徒指導実践講座

職員一人一人を生かす指導体制づくり

講師：江陽中学校

前校長 渡辺 淳 氏

参加校82校 参加者82名



6月12日

新学習指導要領対応

主体的・対話的で深い学びを実現する

カリキュラム・マネジメント

講師：國學院大學

教授 田村 学 氏

参加校84校 参加者94名



7月30日

不適応行動への対応について考える②

～保護者との連携～

講師：新潟大学大学院

特任講師 杉本 篤言 氏

参加校30校 参加者39名



8月22日

発達障害のアセスメントと指導・援助

講師：明星大学

教授 小貫 悟 氏

参加校29校 参加者65名



学校課題の解決やどの子にも分かる授業を実現する要請研修の充実

学校課題の解決に向けて、指導主事が複数回訪問する継続的な要請研修や中学校区等の研修会で複数の指導主事による要請研修を実施する学校が増えています。また、教科別では外国語活動、道徳科の要請数が多くなっています。平成30年度の「要請研修」の要請受理数（8月31日現在）は以下のとおりです。

【要請研修】 145回（小学校114回 中学校・特別支援学校31回）

今後も、新学習指導要領の趣旨を具現する授業改善、各種教育など全校体制の研修を促進させるための校内研修等の支援を行っていきます。要請研修の第Ⅲ期申込みは、10月1日から10月31日までです。学校課題の解決や分かる授業の実現のために要請研修を積極的に、計画的に活用してください。

<要請研修のアンケートより>

- ・指導案検討から指導いただき、充実した研修になった。児童が主体的に活動する姿を目指し、課題設定の工夫やまとめを意識した授業改善により一層取り組んでいる。（社会）
- ・応用行動分析による子どもの見立てや具体的なアプローチの仕方を考えることができた。今後の指導に生かしていきたいという意欲につながった。（特別支援）
- ・授業改善の視点等が明確になり、授業づくりや評価等に向けた具体的な進め方がよく分かった。「考え、議論する」場を意識した授業を目指すようになった。（道徳科）
- ・文字指導や音韻認識の重要性、絵本の活用、評価について具体的に学ぶことができた。授業づくりのポイントを学び、授業に役立てることができた。（外国語活動）



外国語活動



理科

10月の研修講座

追加欄が「可」の講座は追加申込みができます。追加希望がある場合は、教頭または研究主任より教育センター教育研究室（TEL 32-3746）までお知らせください。

日	開始時刻	番号	教科等	講座名	外部講師・実践提案者等（敬称略）	追加
2日（火）	9:00 13:40	0315	指定研修Ⅲ	【平成30年度新採用小学校教員】 （小学校）入門講座 楽しい理科実験 *午前研修、午後研修に分けて実施		
11日（木）	14:40	2138	理科	（中学校3年）単元別研修 化学変化とイオン～電池とイオン～ 実践提案者 新潟大学附属長岡中学校教諭 山本 伸寿		可
17日（水）	14:00	2424	教育相談	カウンセリング研修		可
18日（木）	14:00	2152	生活	里山で秋あそび 講師 科学博物館学芸員 櫻井 幸枝 *雨天決行、里山フィールド駐車場集合、入園料・駐車料金は自己負担 *動きやすい服装で参加（天候によって雨具等が必要）	【場所：国営越後丘陵公園里山フィールド】	可
19日（金）	14:40	2412	特別支援	心理検査を指導に生かす		可
23日（火）	13:30	2113	社会	（中学校）授業公開講座 単元づくりから考える社会科授業 講師 新潟大学附属長岡中学校教諭 西川 哲平	【会場：新潟大学附属長岡中学校】	可
	13:40	0107 2603	指定研修Ⅰ 指導法改善	【各学校1名（これまで本講座を受講していない研究主任など）】 全国学力・学習状況調査結果を活用した指導法改善講座 *指定以外の受講希望者は、講座番号2603で申し込むこと		可
26日（金）	14:00	2425	教育相談	通常の学級における特別な支援が必要な子どもへの対応 講師 上越教育大学大学院教授 加藤 哲文		可
30日（火）	15:00	2415	特別支援	特別支援教育コーディネーター研修②～校内支援体制～		可
31日（水）	14:40	2507	情報・視聴覚	プログラミング体験講座～ビジュアルプログラミングを体験しよう～		可

＜お知らせ＞ 要請研修Ⅲ期の申込みは、10月1日（月）～31日（水）です。
研修講座の追加申込みは随時受け付けています。

教育研究論文について

今年度の教育研究論文の申込総数は112編です。申込みの内訳は、小学校が73編（43校）、中学校が36編（15校）、特別支援学校が3編（2校）です。執筆者の皆さんの提案性が見られるような論文を期待しています。

複数の申込みがある学校や教育研究論文執筆を校内研修に組み込んでいる学校もあります。執筆を通して、各自の指導力向上を目指してほしいと願っています。また、研修として取り組むことで、執筆者だけでなく指導者である研究主任等、学校全体の教育力アップが図られると考えています。

今年度応募のない学校は、今年度の実践を基に、来年度は是非応募ください。

【教育研究論文 提出期間】

11月1日（木）から11月7日（水）まで

コラム 「研修講座の運営を通して」

6月13日、上越教育大学大学院の志村喬教授による「思考力・判断力・表現力等を育む社会科授業」の研修講座を行いました。演習場面では、26名の受講者が、一つの資料をどの分野や単元で使用するかを考え、意見交換をしました。受講者からは、「見方・考え方を深めるための教材開発の必要性を感じた。」「三分野における見方・考え方の違いを理解した。」などの感想が寄せられました。

研修を運営する教育センター職員として、先生方に対して、教材開発に向けた支援を行う必要性を強く感じました。今後の講座運営に生かすとともに、新学習指導要領全面実施を踏まえた教育研究用図書の実を図ります。新学習指導要領関係はもちろん、名著や一歩先を見据えた教育図書の購入も積極的にいきます。教育図書目当てに教育センターに立ち寄ってみてください。（文責 佐藤優一）